

第6回「静岡市社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会」の開催

◆アピールポイント	● 静岡市では、「社会の大きな力」と「世界の大きな知」を活かした社会課題の解決や、新たな本市の価値・魅力の創造につなげる共創の仕組みづくりを進めることを目的として、令和5年5月に「静岡市社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会（以下、市政変革研究会）」を発足しました。 ● 市政変革研究会では、テーマごとに12の分科会を設け、各局の若手・中堅職員が主体となり、委員からの専門的な助言を得ながら、政策立案に向けた研究を進めてきました。 ● 令和6年10月1日に開催した第5回市政変革研究会以降の取組内容や、今後の取組の方向性などについて、各分科会職員から発表を行い、委員から助言等を得て、議論の更なる深堀を図ります。 【市長の出席 有】
◆日時	令和7年3月18日（火）9時30分～12時
◆場所	静岡市役所静岡庁舎 新館8階 市長公室（オンライン併用）
◆内容など	（1）出席者 ・ 研究会委員（13人）※一部WEB参加 ・ 難波市長 ・ 大長副市長 ・ 局長級職員（一部WEB参加） ・ 分科会職員 （2）内 容 ・ 橋本会長挨拶 ・ 進め方等説明 ・ 分科会からの進捗状況報告、質疑応答 ・ 次年度の研究会運営 ・ 会長総括コメント ・ 市長コメント （3）その他 ・ 報道機関の皆様は入室・傍聴可能です。 ・ 会場の都合上、一般の方の入室は不可としています。なお会議資料及び議事録は、後日、市ホームページ上で公開します。

別紙資料

有 ・ 無

【問合せ】 企画課（静岡庁舎新館9階）
 担当 古牧、近藤
 電話 054-221-1002

(案)

第6回

静岡市社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会

日時：令和7年3月18日（火）
9時30分から12時00分
方法：静岡市役所静岡庁舎
8階市長公室

次 第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 本日の進め方等
- 4 分科会進捗状況報告、質疑応答
 - (1) ウェルビーイング
 - (2) 人口減少対策
 - (3) 子育て教育
 - (4) 新共助社会
 - (5) 市民の声を聴くシステム
 - (6) ヘルスケア
 - (7) DX①次世代防災
 - (8) DX②デジタル行政
 - (9) DX③都市・交通
 - (10) BX
 - (11) GX①脱炭素社会
 - (12) GX②農と食
- 5 次年度以降の研究会運営
- 6 会長総括コメント
- 7 市長コメント
- 8 閉会

資料1

資料2

資料3

静岡市社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会 委員等名簿

(五十音順、敬称略)

氏名	所属・役職	主たる専門分野
あおき しげき 青木 成樹	一般財団法人マリンオープンイノベーション (MaOI) 機構 特任研究員、 日本エヌ・ユー・エス株式会社 顧問	地域産業分析
いけだ けいこ 池田 恵子	静岡大学教授 グローバル共創科学部長	男女共同参画、地域防災
うちだ はるひさ 内田 晴久	東海大学教授 静岡キャンパス長	水素エネルギー、リサイクル、知財教育
くろいし まさあき 黒石 匡昭	PA パートナース株式会社 代表取締役 公認会計士	行財政改革、公共調達
こんどう かつのり 近藤 克則	千葉大学 予防医学センター 特任教授	ライフサイエンス、 健康医療
さかい さとし 酒井 敏	静岡県立大学 グローバル地域センター 特任教授 副学長	地球流体力学
さかた いちろう 坂田 一郎	東京大学工学系研究科教授、総長特別参与	DX、GX
しんじょう あつし 神 成 淳司	慶應義塾大学 環境情報学部教授、 内閣官房イノベーション戦略調整官／ 健康医療戦略室次長	情報政策、AI 農業、 ヘルスサイエンス
たかお まきこ 高尾 真紀子	法政大学大学院政策創造研究科教授	福祉、ウェルビーイング
たに あきと 谷 明人	JX 金属株式会社 常務執行役員 技術本部審議役、JX 金属戦略技研株式会社 代表取締役社長	技術政策、防災
はしもと まさひろ 橋本 正洋	法政大学大学院政策創造研究科教授、 東京科学大学名誉教授	イノベーション学
もりかわ たかゆき 森川 高行	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 社会的価値研究部門 教授	次世代交通システム
やまぎし ゆうき 山岸 祐己	静岡理工科大学 情報学部 准教授 理化学研究所 革新知能統合研究センター 客員研究員	AI、DX